

## Ⅱ 調査結果のあらまし

### <注 意>

- 1 結果は百分比で表示しました。数表の解説の百分比は、小数第2位を四捨五入しましたので個々の比率の合計と、全体を示す数値と一致しないことがあります。
- 2 質問文の中で複数の回答を求めたものは、その百分比の合計が100%を超えます。
- 3 分析の中の国、県、市の調査は次の調査です。  
国の調査…生涯学習に関する世論調査（平成24年7月調査）  
県の調査…生涯学習に関する県民の意識・実態と今後の意向調査（平成24年1月調査）  
市の調査…生涯学習に関する市民ニーズ調査（平成17年12月調査）

問1 あなたは、「生涯学習」という言葉から、どのようなイメージを持ちますか。  
あてはまるものをすべて選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 356人

<今回調査>

「生涯学習」という言葉に対するイメージを質問したところ、全体では「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事」が 55.1%と最も高く、以下「趣味・教養を高めること」が 51.7%、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」、「高齢者の生きがいを充実すること」が 46.1%となっており、主に、この4つを「生涯学習」という言葉のイメージとして持たれています。男女別でもこれは同じ傾向です。

年齢別に最も高い回答率の項目を見ると、20・30歳代は、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」、40歳代は「趣味・教養を高めること」、50・60歳代は「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事」、70歳代以上は「高齢者の生きがいを充実すること」となっており、年代によって抱くイメージの首位がそれぞれ変わってゆきます。また、20歳代は「職業上必要な知識・技術を身に付ける」ことも4位にあり、仕事との関わりも意識していることがうかがえます。

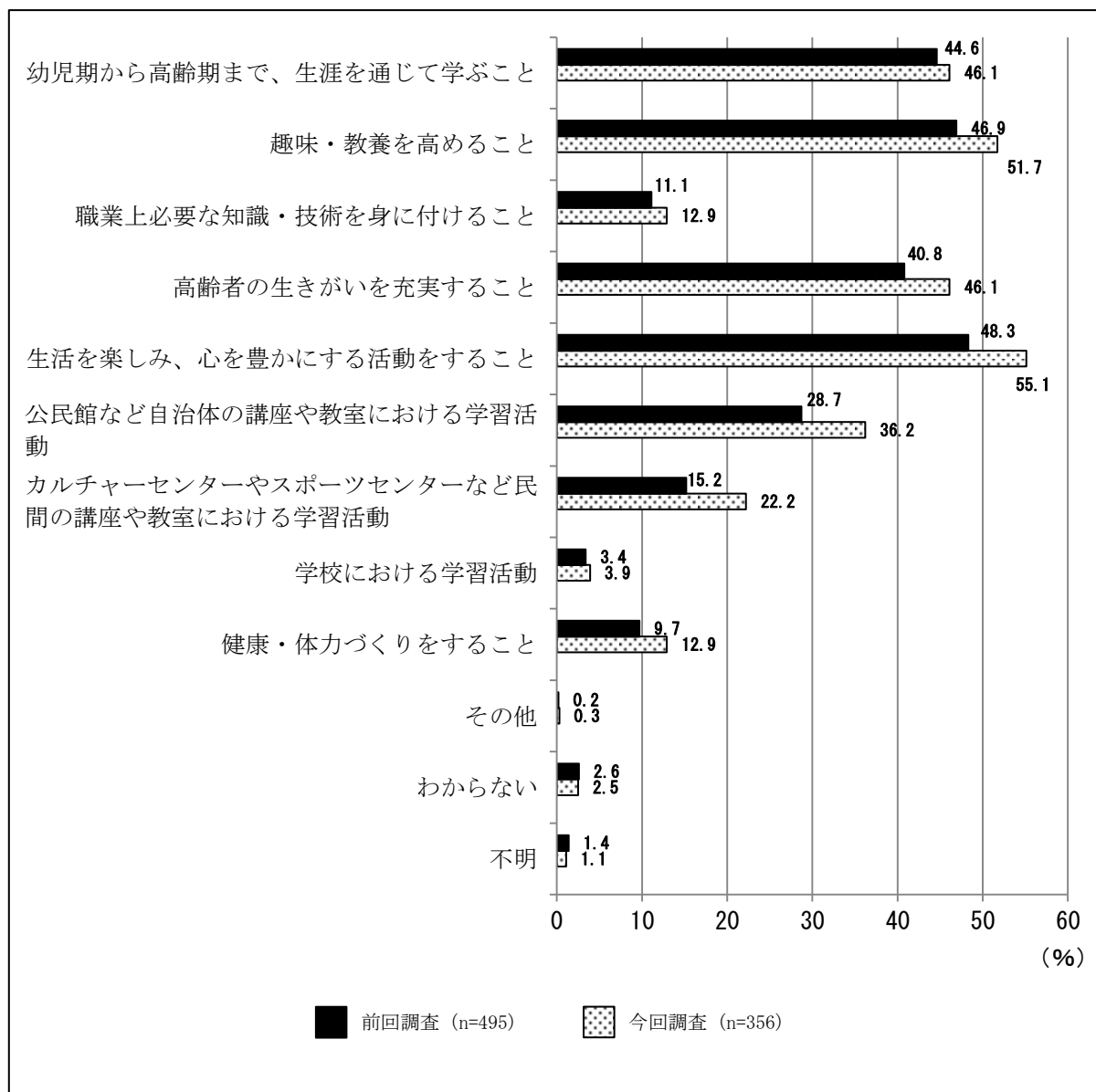
<前回調査との比較>

今回調査と平成17年12月に三条市が実施した調査を比較すると、ほとんどの項目について増加していますが、特に「公民館などの自治体の講座や教室における学習活動」が7.5ポイントの増加で、最も増えています。

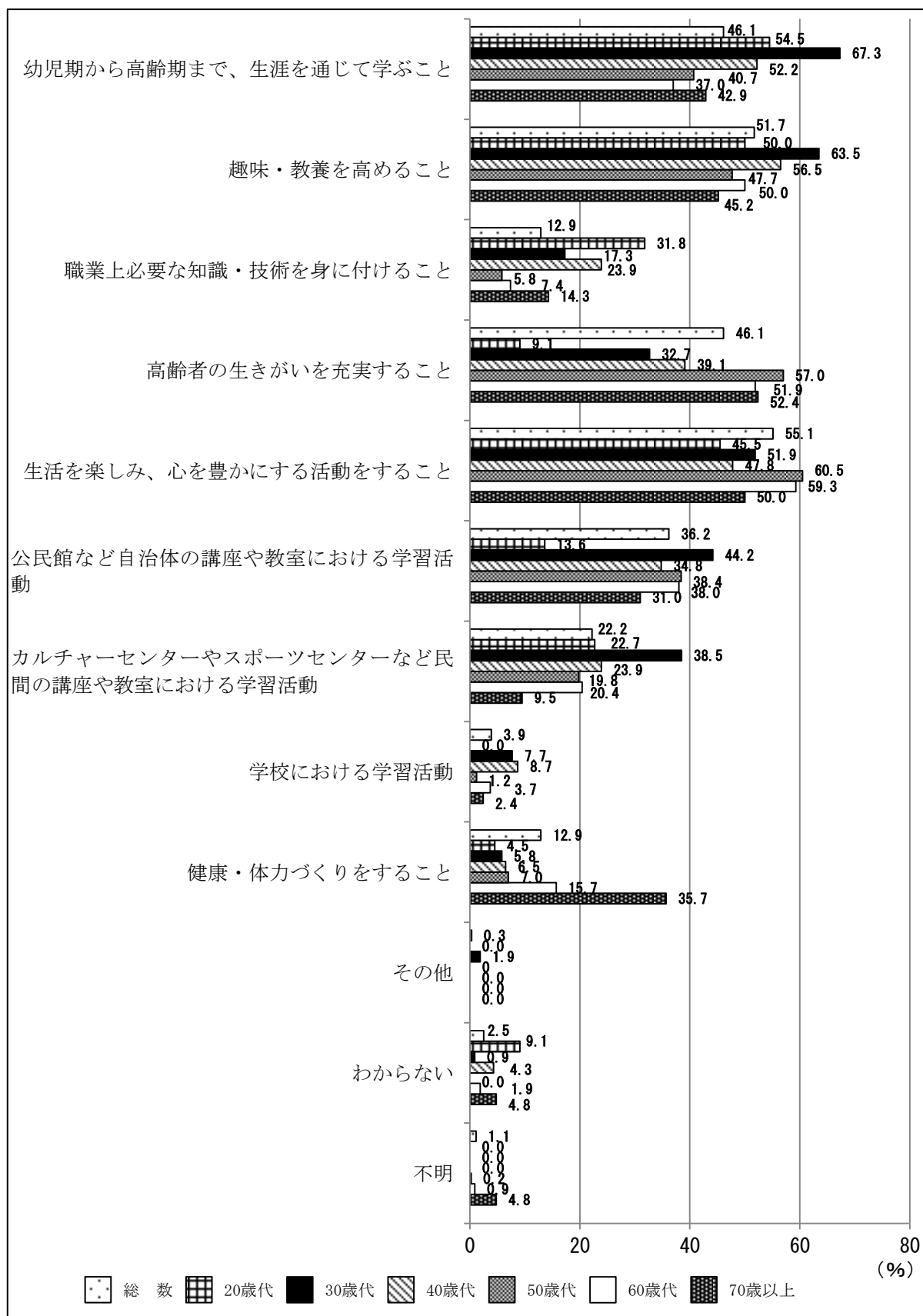
<他の調査との比較>

国が行った調査では、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」が 46.2%と最も高く、以下「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事」が 42.7%、「趣味・教養を高めること」が 40.6%、「高齢者の生きがいづくり」が 34.7%となっています。三条市の調査結果と大きな差異はありません。

## ＜前回調査との比較＞



<年 代 別>



問2 あなたは、仕事や家事のほかに自由な時間をどのように過ごしていますか。時間を費やしているものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 356人

<今回調査>

自由時間の過ごし方を質問したところ、全体では「テレビを見たり、ラジオを聴いたりする」が79.8%、「新聞や雑誌を読む」が52.0%、「家族のだんらん」が34.6%、「パソコン・携帯電話・インターネットをする」が32.0%となっています。

男女別で見た場合でも上位2つに変わりはありませんが、3位に男性は「パソコン・携帯電話・インターネットをする」、女性は「家族のだんらん」となっています。

年代別では、全年代では1位に「テレビを見たり、ラジオを聴いたりする」ですが、2位となると50歳代以上は「新聞や雑誌を読む」であり、40歳代を境に若い方は「パソコン・携帯・インターネットをする」で、ITの普及により自由時間の過ごし方にも変化が生じているようです。また、20歳代の「新聞や雑誌を読む」は6位と低くなっています。

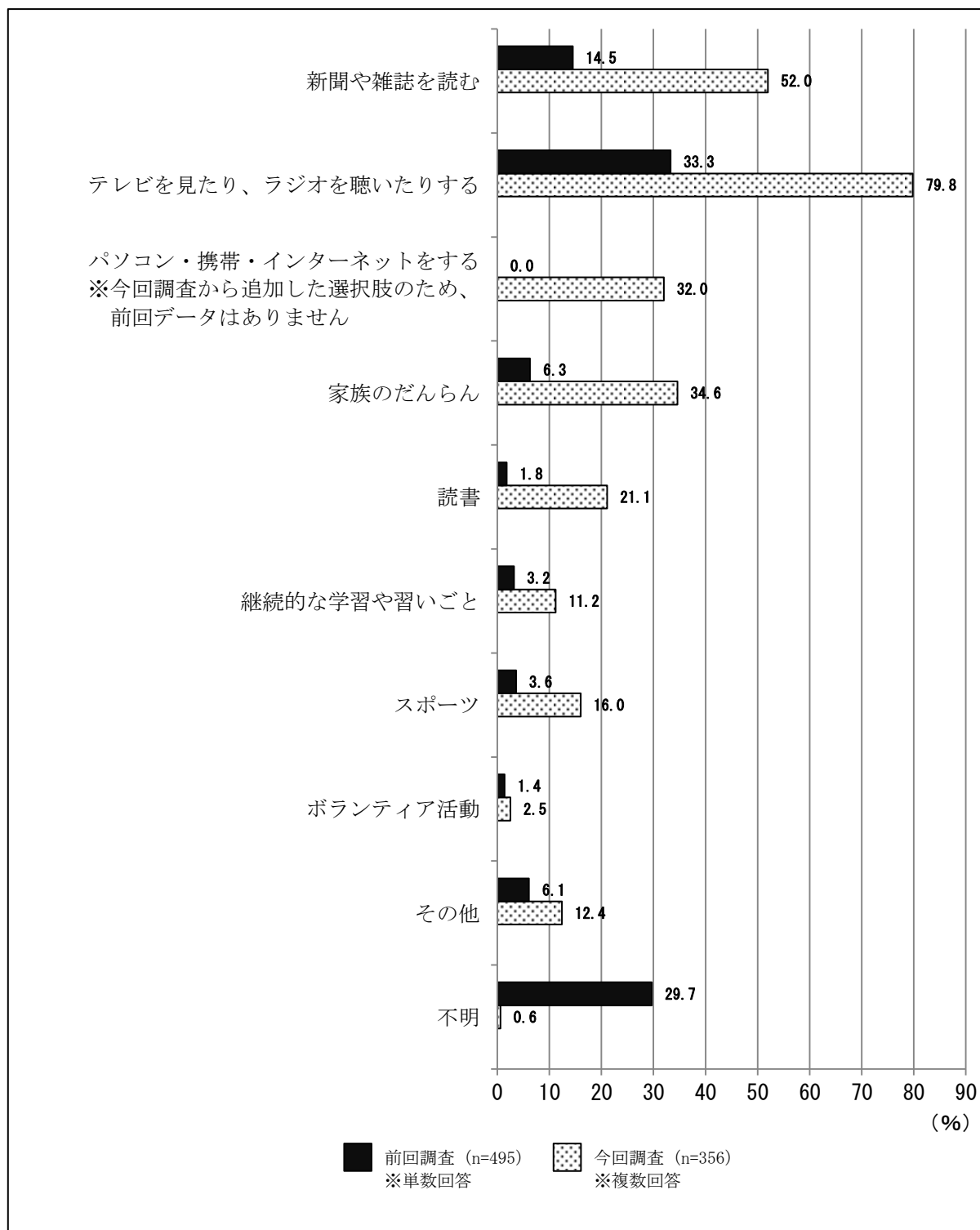
<前回調査との比較>※前回調査は1つのみの回答

今回調査と前回調査を比較すると、「テレビを見たり、ラジオを聴く」が33.3%、「新聞や雑誌を読む」が14.5%となっており、自由時間の過ごし方に大きな変化は見られませんが、今回選択の中に新たに追加した「パソコン・携帯・インターネットをする」は、生活の中に大きな影響をもたらしています。

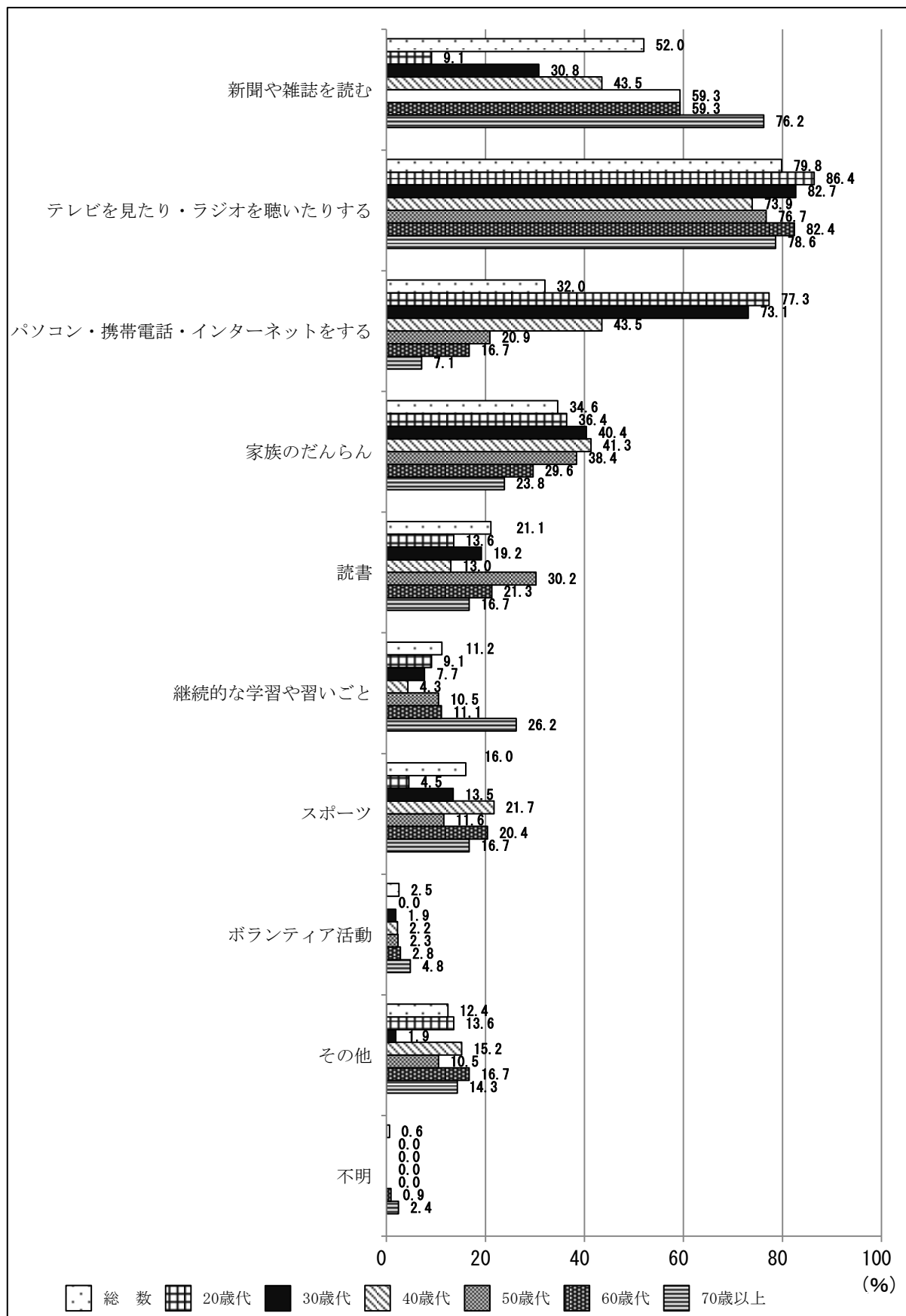
<他の調査との比較>

国が平成11年8月に行った「余暇時間の活用と旅行に関する世論調査」では、平日の余暇時間の過ごし方として「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの見聞き」と回答した方が62.7%と最も多く、以下「何もしないでのんびりする」が31.1%、「家族とのだんらん」が29.6%、「趣味・娯楽（家庭菜園、釣り、マージャン、パチンコなど）」が23.4%となっています。現在の三条市の傾向と大きな差は見られません。

<前回調査との比較>



<年 代 別>



問3 あなたは日ごろ学習や活動をすることの必要性を感じていますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 356人

<今回調査>

日ごろ学習や活動することの必要性について質問したところ、全体では「どちらかといえば感じている」と答えた方が59.0%と最も高く、「強く感じている」と答えた方20.8%と合わせて79.8%となっています。およそ8割の人が学習や活動の必要性を感じています。

男女別でもほぼ同様の傾向ですが、「強く感じている」と回答された方は、男性で27.9%、女性で16.1%となっており、男性の方が日ごろの学習や活動の必要性を強く感じています。

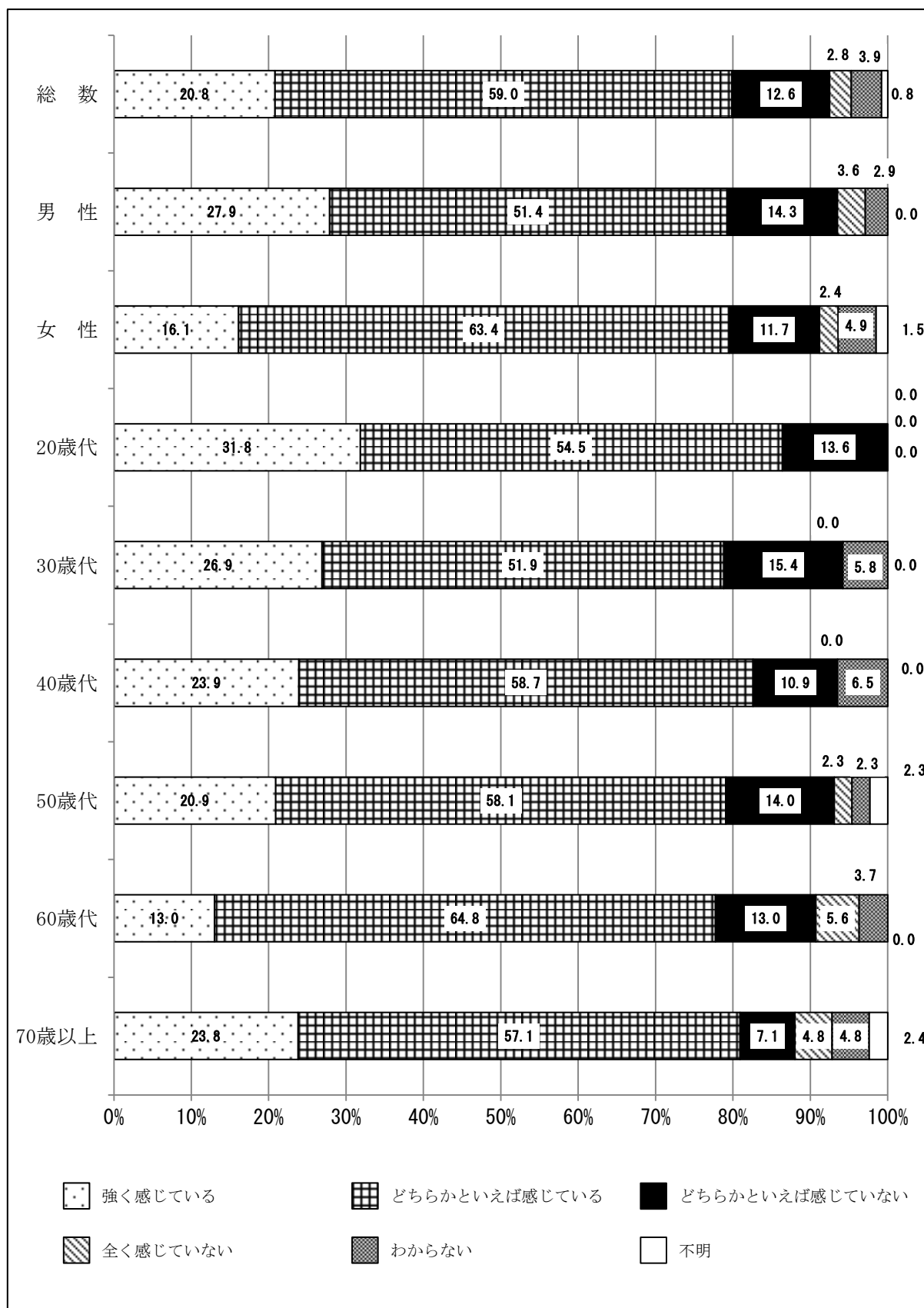
年代別でも同様の傾向ですが、若い世代の方が学習や活動の必要性を強く感じている人の割合が少し高くなっています。

<前回調査との比較>

今回調査と前回調査を比較すると、「強く感じている」または「どちらかといえば感じている」と答えた方が83.6%から79.8%となり、3.8%の減少となっています。特に女性は、「強く感じている」が前は男性より高かったが、男性より低くなり、36.0%から16.1%に減少しています。



<年代別>



問4 あなたは、生涯学習にどの程度関心がありますか。次の（ア）から（コ）までの項目について、それぞれあてはまるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 356人

ア 一般的知識や教養を高めること（文学、歴史、自然科学など）

<今回調査>

全体では、「ある」と答えた人が58.7%（「非常にある」13.2%+「ある程度ある」45.5%）、  
「ない」と答えた人が34.3%（「あまりない」28.1%+「ほとんどない」6.2%）となっています。

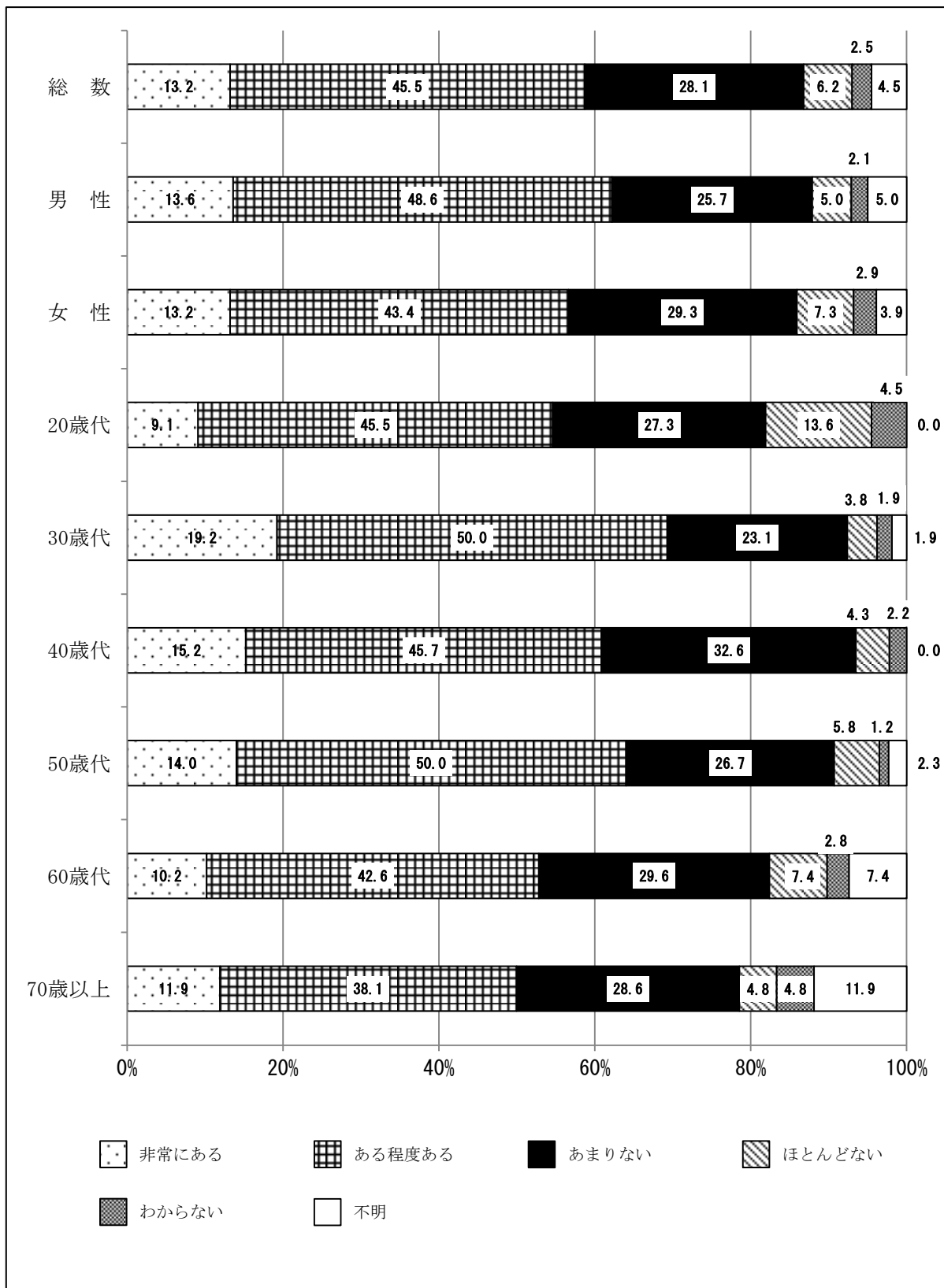
男女別で見た場合、男性で「ある」と答えた人62.2%（「非常にある」13.6%+「ある程度ある」48.6%）となり、女性の「ある」と答えた人56.6%（「非常にある」13.2%+「ある程度ある」43.4%）と比較すると、5.6%男性の方が高くなっております。

年代別で見た場合、30歳代において「ある」と答えた人は69.2%と高くなっています。

<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、「ある」と答えた人は65.1%（「非常にある」16.2%+「ある程度ある」48.9%）から58.7%となり6.4%の減少、「ない」と答えた人は27.1%（「あまりない」19.6%+「ほとんどない」7.5%）から34.3%となり7.2%の増加となっており、一般的知識や教養を高めることに対する関心が低くなっていることがうかがえます。

<全 体>



## イ 社会問題（政治、経済、国際交流、環境問題など）

### <今回調査>

全体では、「ある」と答えた人が 56.4%（「非常にある」11.5%+「ある程度ある」44.9%）、  
「ない」と答えた人が 36.2%（「あまりない」27.8%+「ほとんどない」8.4%）となっ  
ています。

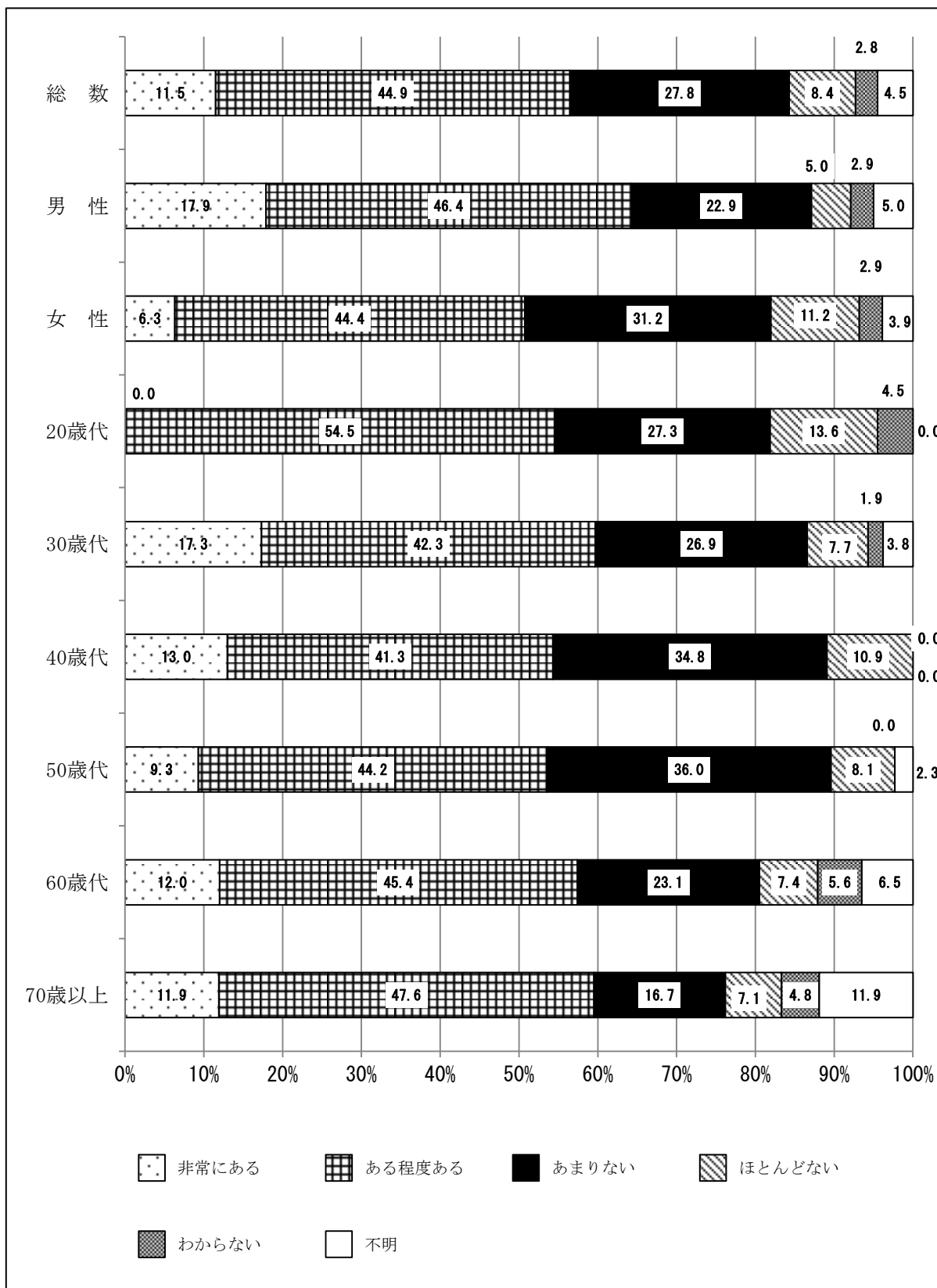
男女別で見た場合、男性で「ある」と答えた人が 64.3%（「非常にある」17.9%+「あ  
る程度ある」46.4%）となり、女性の「ある」と答えた人 50.7%（「非常にある」6.3%+  
「ある程度ある」44.4%）と比較すると、13.6%男性の方が高くなっております。

年代別で見た場合に、大きな差異は見られませんでした。

### <前回調査>

前回調査と比較すると、「ある」と答えた人は 66.5%（「非常にある」16.6%+「ある程  
度ある」49.9%）から 56.4%となり 10.1%の減少、「ない」と答えた人は 24.7%（「あま  
りない」19.4%+「ほとんどない」5.3%）から 36.2%となり 11.5%の増加となっていま  
す。社会問題に対する関心が低くなっていることがうかがえます。

<全 体>



## ウ 職業上必要な知識や技能（資格取得・様々な能力の取得など）

### <今回調査>

全体では、「ある」と答えた人が 53.1%（「非常にある」21.1%+「ある程度ある」32.0%）、  
「ない」と答えた人が 39.1%（「あまりない」28.4%+「ほとんどない」10.7%）となっ  
ています。

男女別で見た場合、男性で「ある」と答えた人は 57.2%（「非常にある」23.6%+「あ  
る程度ある」33.6%）となり、女性の「ある」と答えた人 51.7%（「非常にある」20.0%  
+「ある程度ある」31.7%）と比較すると、5.5%男性の方が高くなっています。

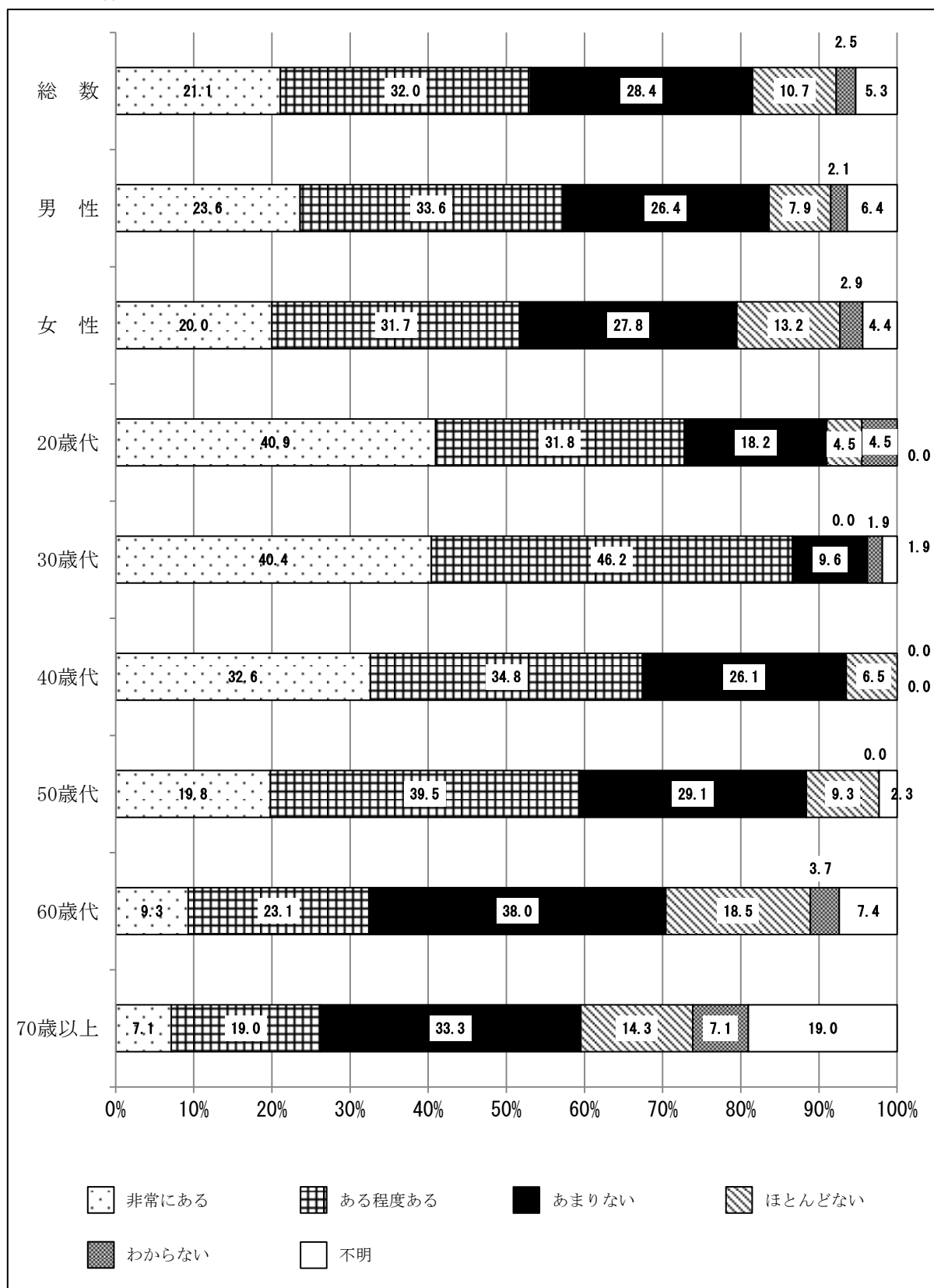
年代別で見た場合、20 歳代において「ある」と答えた人は 72.7%と高く、30 歳代にお  
いては 86.6%とかなり高くなっています。また、60 歳代以上となると約半数が「ない」と  
いう回答となっています。

### <前回調査との比較>

前回調査と比較すると、「ある」と答えた人は 52.0%（「非常にある」16.6%+「ある程  
度ある」35.4%）から 53.1%となり 1.1%の増加で、うち「非常にある」が 4.5%増加して  
います。また、「ない」と答えた人は 37.6%（「あまりない」21.6%+「ほとんどない」16.0%）  
から 39.1%となり 1.5%の増加となっています。

男女別で比較すると、職業上必要な知識や技能に対する女性の関心が高くなっているこ  
とがうかがえます。

<全 体>



## エ 語学（英会話など）

### <今回調査>

全体では、「ある」と答えた人が 29.0%（「非常にある」7.9%＋「ある程度ある」21.1%）、  
「ない」と答えた人が 61.0%（「あまりない」36.0%＋「ほとんどない」25.0%）となっ  
ています。

男女別で見た場合、男性で「ある」と答えた人 25.0%（「非常にある」7.1%＋「ある程  
度ある」17.9%）となり、女性の「ある」と答えた人 32.2%（「非常にある」8.8%＋「あ  
る程度ある」23.4%）と比較すると、7.2%女性の方が高くなっております。

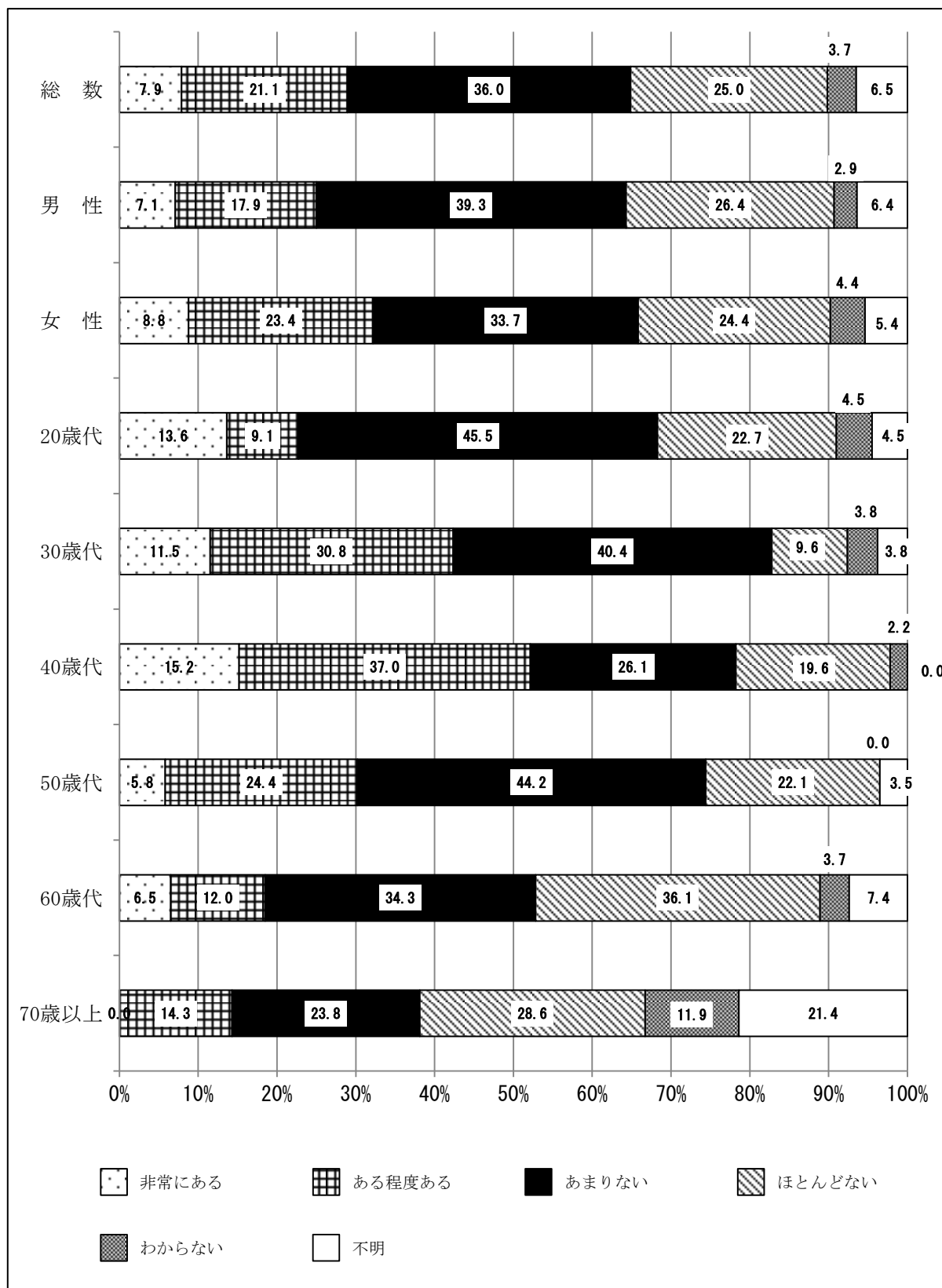
年代別で見た場合、40 歳代において「ある」と答えた人が 52.2%と最も多く、次いで  
30 歳代が 42.3%となっています。全体的に関心が低いですが、60 歳代は 18.5%、70 歳代  
は 14.3%でかなり低く、また 20 歳代も 22.7%と関心は低い状況です。

### <前回調査との比較>

前回調査と比較すると、「ある」と答えた人は 29.3%（「非常にある」8.7%＋「ある程  
度ある」20.6%）から 29.0%となり 0.3%の減少、「ない」と答えた人は 57.3%（「あまり  
ない」32.7%＋「ほとんどない」24.6%）から 61.0%となり 3.7%の増加となっており、  
語学に対する関心が低くなっていることがうかがえます。



<全 体>



オ 趣味的なもの（音楽、美術、華道、書道など）

<今回調査>

全体では「ある」と答えた人は 60.7%（「非常にある」18.8%+「ある程度ある」41.9%）、  
「ない」と答えた人は 34.3%（「あまりない」25.6%+「ほとんどない」8.7%）となっ  
ています。

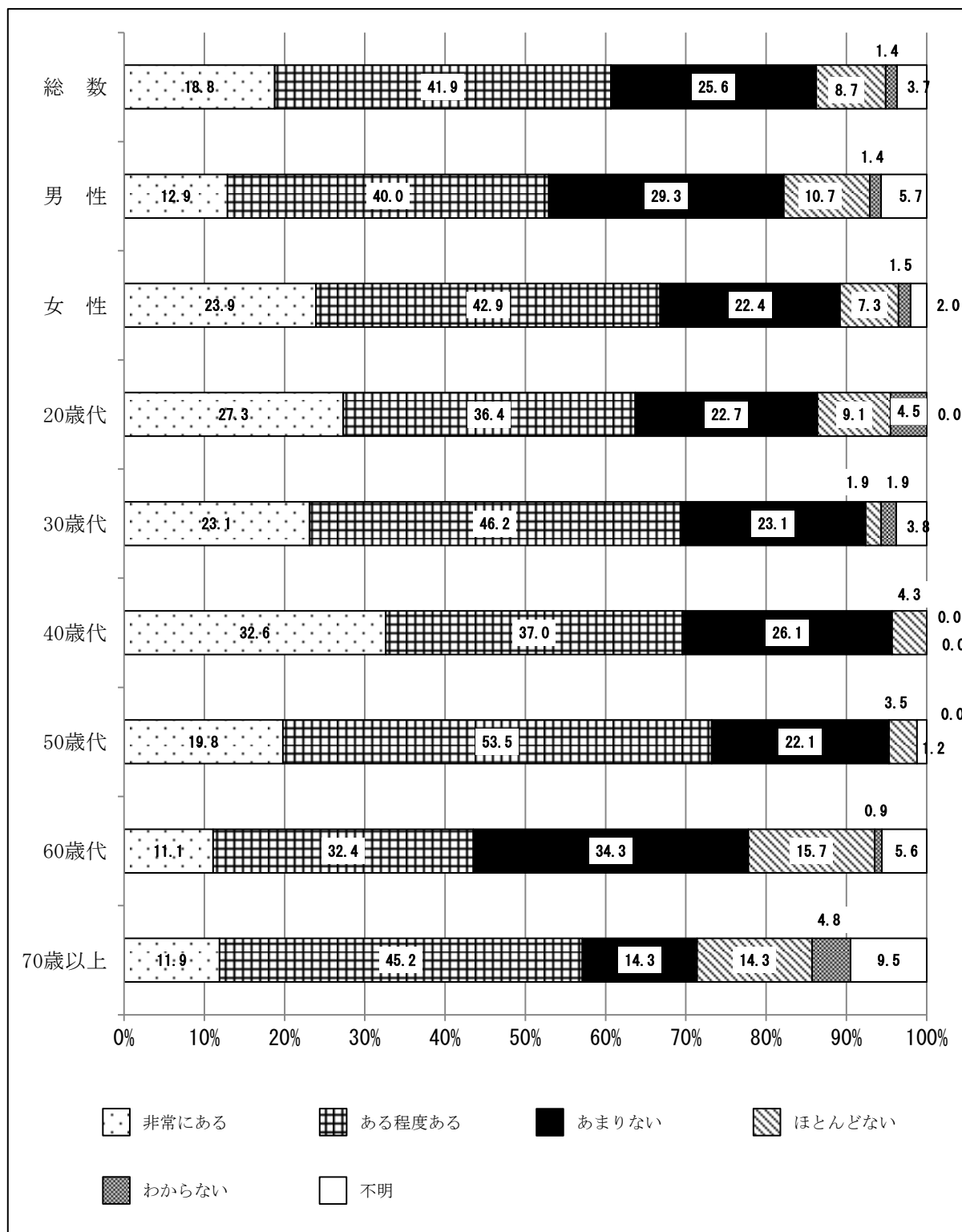
男女別で見た場合、男性で「ある」と答えた人 52.9%（「非常にある」12.9%+「ある  
程度ある」40.0%）となり、女性の「ある」と答えた人 66.8%（「非常にある」23.9%+  
「ある程度ある」42.9%）と比較すると、13.9%女性の方が高くなっています。

年代別で見た場合、50 歳代において「ある」と答えた人は 73.3%、40 歳代 69.6%、30  
歳代 69.3%となっています。

<前回調査との比較>

前回調査と調査すると、「ある」と答えた人は 61.6%（「非常にある」17.6%+「ある程  
度ある」44.0%）から 60.7%となり 0.9%の減少、「ない」と答えた人は 30.7%（「あまり  
ない」20.2%+「ほとんどない」%）から 34.3%となり 3.6%の増加となっており、趣味  
的なものに対する関心がやや低くなっていることがうかがえます。

<全 体>



## カ スポーツ、レクリエーション

### <今回調査>

全体では、「ある」と答えた人が 50.8%（「非常にある」12.9%+「ある程度ある」37.9%）、  
「ない」と答えた人が 42.1%（「あまりない」28.1%+「ほとんどない」14.0%）となっ  
ています。

男女別で見た場合、男性で「ある」と答えた人は 57.8%（「非常にある」16.4%+「あ  
る程度ある」41.4%）となり、女性の「ある」と答えた人 46.8%（「非常にある」10.7%  
+「ある程度ある」36.1%）と比較すると、男性の方が 11.0%高くなっています。

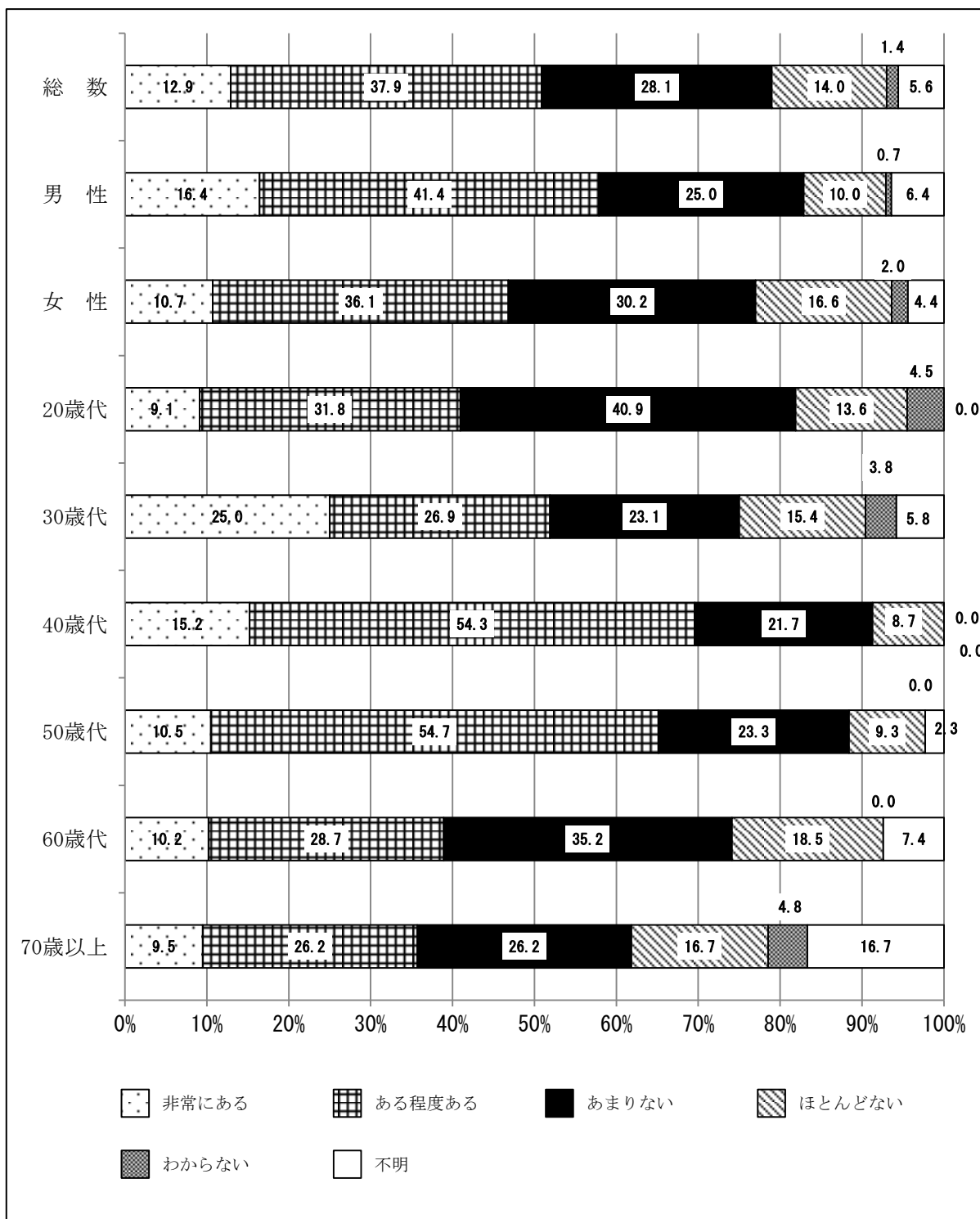
年代別で見た場合、40 歳代において「ある」と答えた人は 69.5%、50 歳代では 65.2%  
となり、他の世代よりも関心が高いことがうかがえます。

### <前回調査との比較>

前回調査と比較すると、「ある」と答えた人は 51.9%（「非常にある」13.9%+「ある程  
度ある」38.0%）から 50.8%となり 1.1%の減少、「ない」と答えた人は 39.0%（「あまり  
ない」25.7%+「ほとんどない」13.3%）から 42.1%となり 3.1%の増加となっています。  
スポーツ、レクリエーションに対する関心がやや低くなっていることがうかがえます。

また、年代別で比較した場合、20 歳代で「ある」と答えた人が 52.5%（「非常にある」  
15.0%+「ある程度ある」41.9%）から、40.9%（「非常にある」9.1%+「ある程度ある」  
31.8%）となり、11.6%の減少となっています。若い世代のスポーツに対する関心も薄れ  
てきていることがうかがえます。

<全 体>



キ 健康、家庭生活に関する知識や技能（健康、医学、栄養、料理など）

＜今回調査＞

全体では、「ある」と答えた人が 68.8%（「非常にある」17.7%＋「ある程度ある」51.1%）、  
「ない」と答えた人は 24.7%（「あまりない」20.2%＋「ほとんどない」4.5%）となっ  
ています。

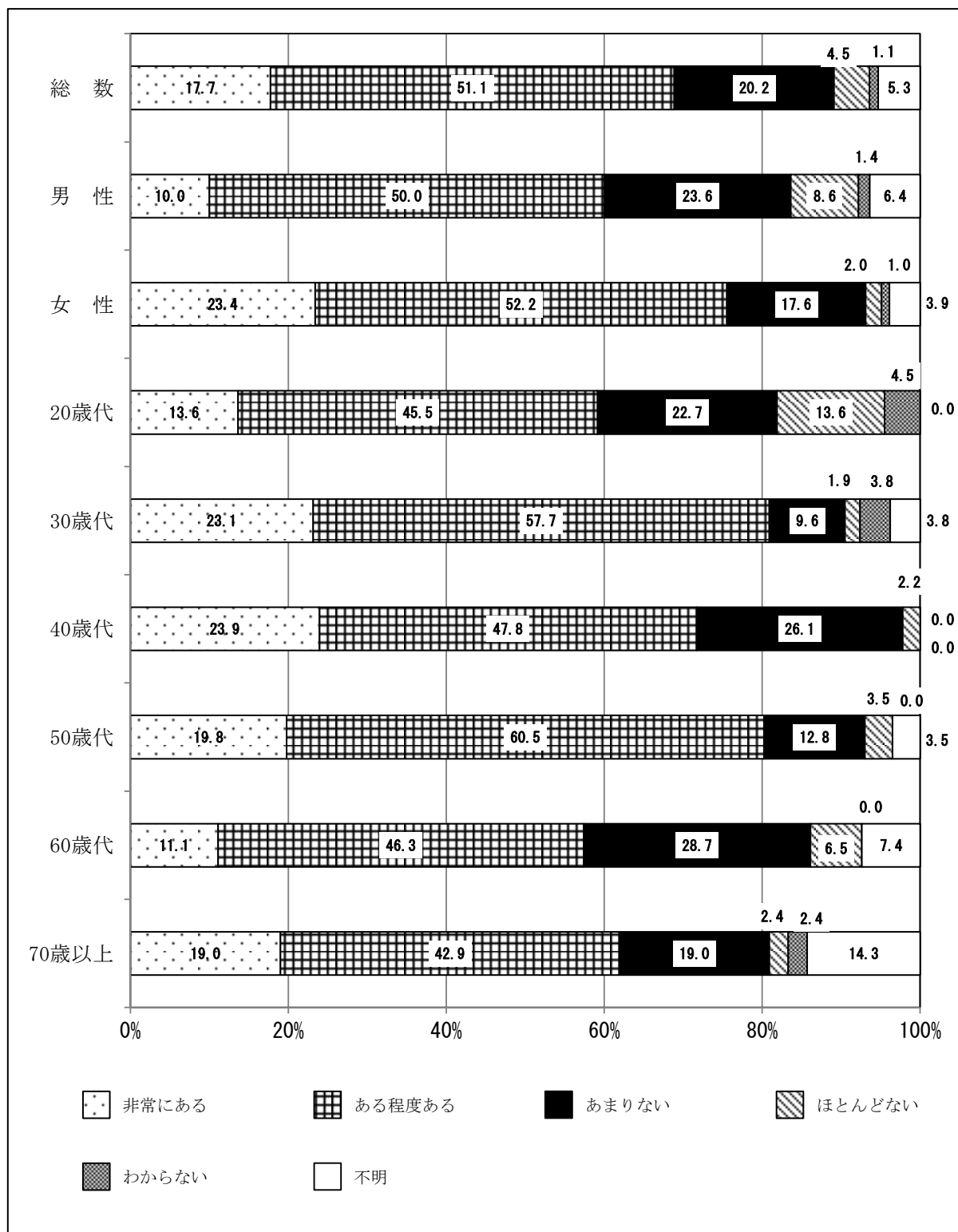
男女別で見た場合、男性で「ある」と答えた人が 60.0%（「非常にある」10.0%＋「あ  
る程度ある」50.0%）となり、女性の「ある」と答えた人 75.6%（「非常にある」23.4%  
＋「ある程度ある」52.2%）と比較すると、女性の方が 15.6%高くなっております。

年代別で見た場合、30 歳代、50 歳代において「ある」と答えた人が 80%以上、40 歳代  
で「ある」と答えた人も 70%以上となっており、全体的に関心が高いことがうかがえます。

＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、「ある」と答えた人は 71.9%（「非常にある」21.6%＋「ある程  
度ある」50.3%）から 68.8%となり 3.1%の減少、「ない」と答えた人は 20.6%（「あまり  
ない」16.4%＋「ほとんどない」4.2%）から 24.7%となり 4.1%の増加となっており、健  
康、家庭生活に関する知識や技能に対する関心がやや低くなっていることがうかがえます。

<全 体>



## ク 育児、教育に関すること（幼児教育、教育問題など）

### <今回調査>

全体では、「ある」と答えた人が 46.9%（「非常にある」11.8%＋「ある程度ある」35.1%）、  
「ない」と答えた人は 45.2%（「あまりない」28.9%＋「ほとんどない」16.3%）となっ  
ています。

男女別で見た場合、男性で「ある」と答えた人は 37.1%（「非常にある」6.4%＋「ある  
程度ある」30.7%）となり、女性で「ある」と答えた人 54.1%（「非常にある」14.6%＋  
「ある程度ある」39.5%）と比較すると、女性の方が 17.0%高くなっております。

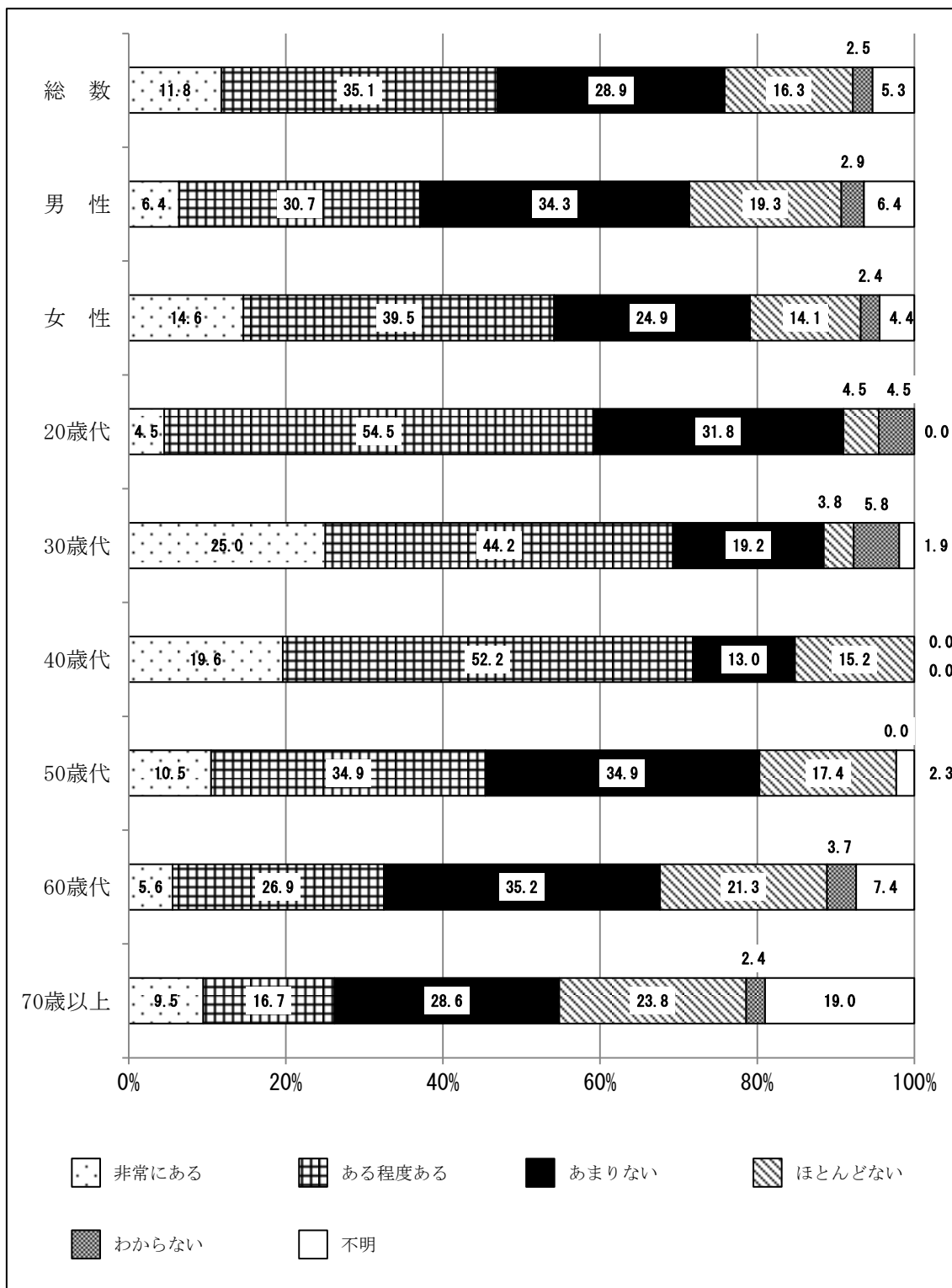
年代別で見た場合、30 歳代、40 歳代において「ある」と答えた人は 65%以上、20 歳代  
は「ある」と答えた人は 50%以上となっています。子育て世代の関心の高さがうかがえま  
す。一方で、50 歳代よりも上の世代ではやや関心が低いことがうかがえます。

### <前回調査との比較>

前回調査と比較すると、「ある」と答えた人は 51.3%（「非常にある」11.1%＋「ある程  
度ある」40.2%）から 46.9%となり 4.4%の減少、「ない」と答えた人は 38.3%（「あまり  
ない」24.2%＋「ほとんどない」14.1%）から 45.2%となり 6.9%の増加となっています。  
育児、教育に関することに対する関心が低くなっていることがうかがえます。



<全 体>



## ケ 情報通信に関すること（パソコン、インターネットなど）

### <今回調査>

全体では、「ある」と答えた人が 44.1%（「非常にある」11.0%+「ある程度ある」33.1%）、  
「ない」と答えた人が 47.2%（「あまりない」30.6%+「ほとんどない」16.6%）となっ  
ています。

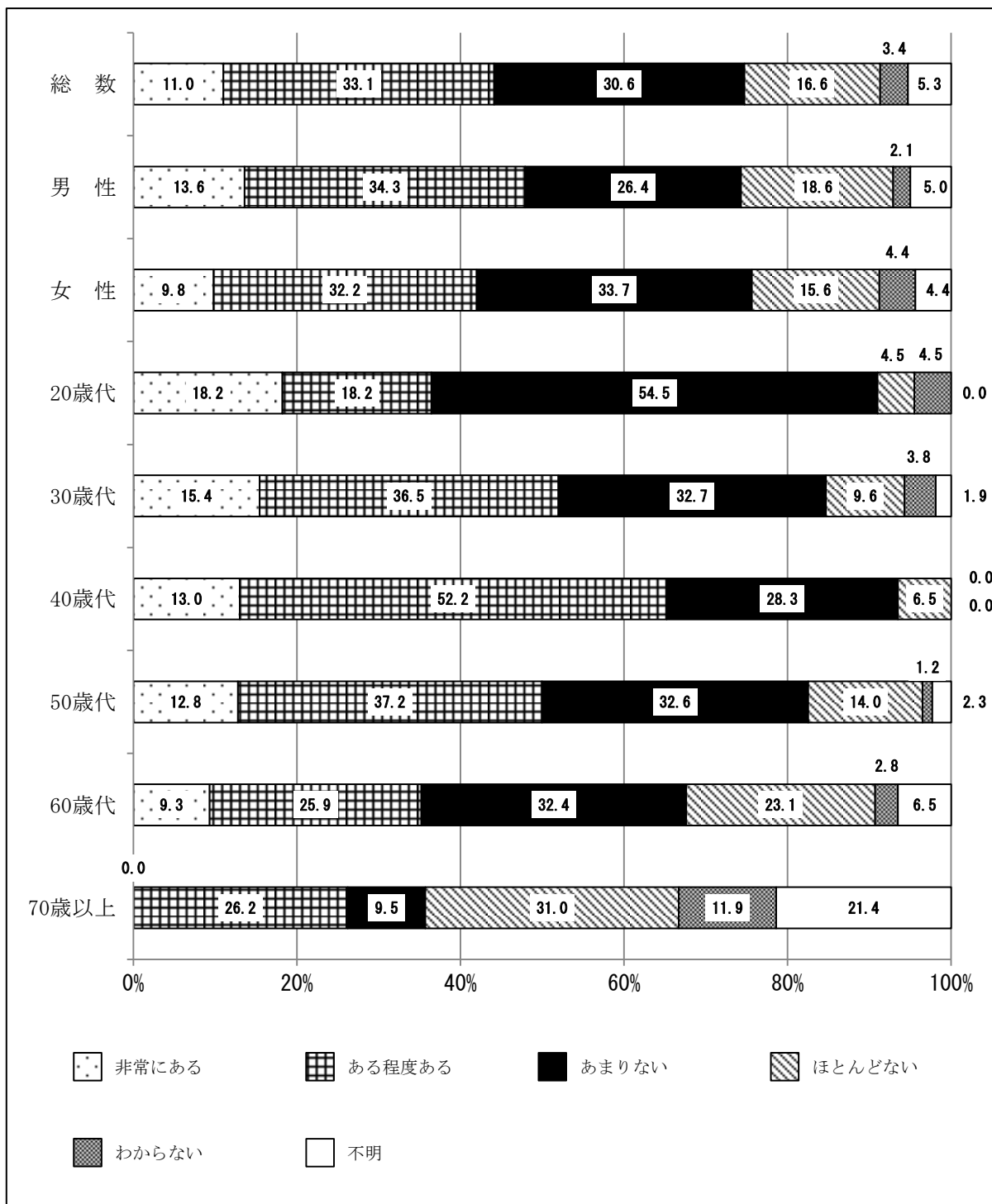
男女別で見た場合、男性で「ある」と答えた人は 47.9%（「非常にある」13.6%+「あ  
る程度ある」34.3%）となり、女性で「ある」と答えた人 42.0%（「非常にある」9.8%+  
「ある程度ある」32.2%）と比較すると、男性の方が 5.9%高くなっています。

年代別では、1位が 40 歳代において「ある」と答えた人で 65.2%、続いて 30 歳代にお  
いては 51.9%、50 歳代も 50.0%となっており、中高年の方の関心の高さがうかがえます。

### <前回調査との比較>

前回調査と比較すると、「ある」と答えた人は 48.3%（「非常にある」10.3%+「ある程  
度ある」38.0%）から 44.1%となり 4.2%の減少、「ない」と答えた人は 40.0%（「あまり  
ない」30.3%+「ほとんどない」9.7%）から 47.2%となり 7.2%の増加となっています。  
特に、20 歳代では「ある」と答えた人が 55.0%から 36.4%に減少し、「ない」と答えた人  
は 37.5%から 59.0%に増加し、特に学習に関心をもたない状況に変わってきていることが  
うかがえます。

<全 体>



## コ ボランティア活動

### <今回調査>

全体では、「ある」と答えた人が 34.0%（「非常にある」5.1%+「ある程度ある」28.9%）、  
「ない」と答えた人は 57.3%（「あまりない」37.1%+「ほとんどない」20.2%）となっ  
ています。

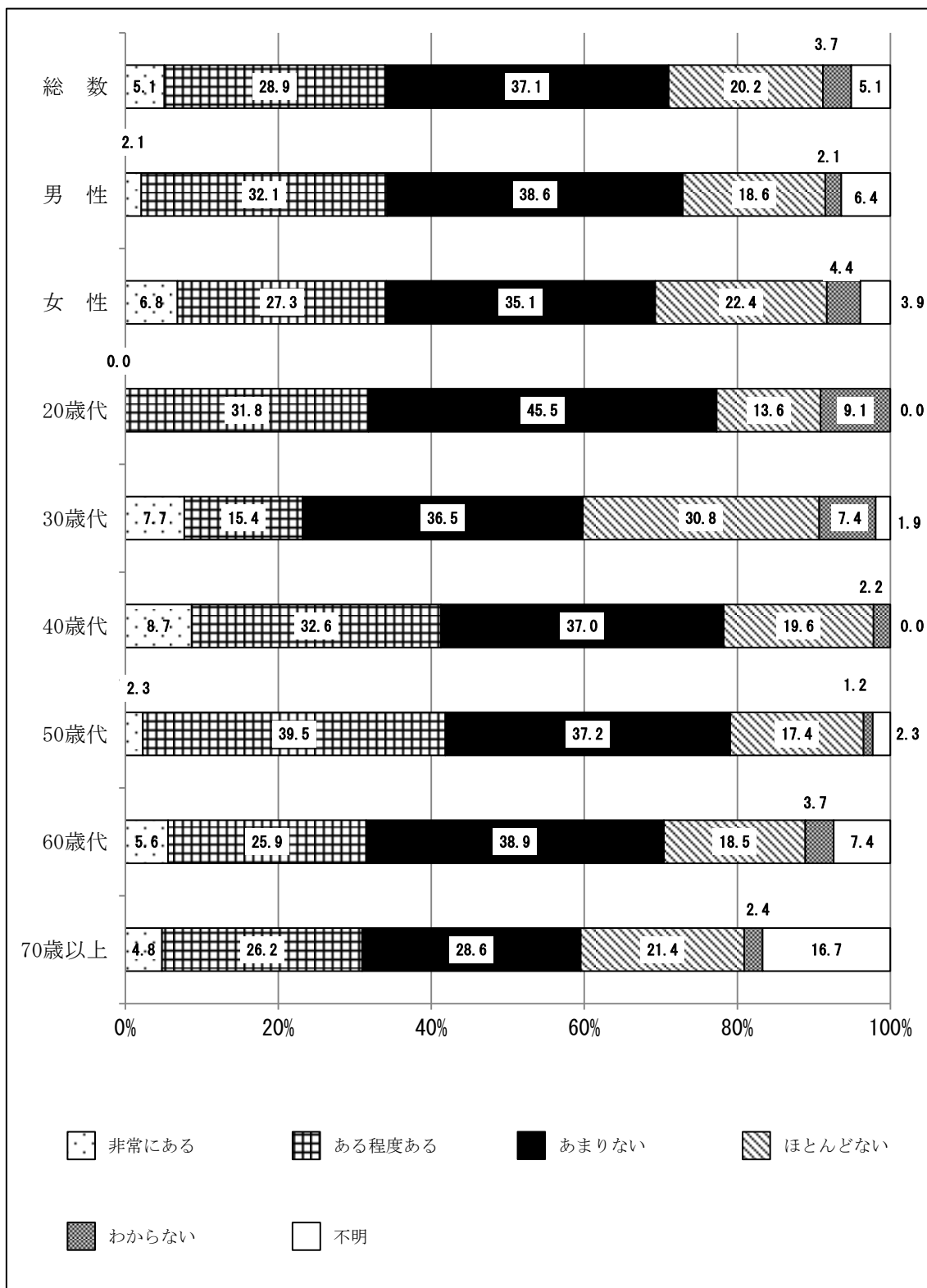
男女別で見た場合、差異はほとんどありません。

年代別では、50 歳代で「ある」と答えた人は 41.8%（「非常にある」2.3%+「ある程度  
ある」39.5%）、40 歳代で 41.3%（「非常にある」8.7%+「ある程度ある」32.6%）とな  
っており、他の世代よりも相対的に関心が高いことがわかります。しかし、全体的にボラ  
ンティア活動に対して関心が低いことがうかがえます。

### <前回調査との比較>

前回調査と比較すると、「ある」と答えた人は 39.0%（「非常にある」7.9%+「ある程  
度ある」31.1%）から 34.0%となり 5.0%の減少、「ない」と答えた人は 52.5%（「あまり  
ない」33.5%+「ほとんどない」19.0%）から 57.3%となり 4.8%の増加となっています。

<全 体>



問5 あなたは、この1年間にどのような学習活動をしましたか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 356人

#### <今回調査>

この1年間に行った学習活動の内容について質問したところ、学習活動をしたことがあると答えた人の中では、全体として「趣味的なもの（音楽、美術、華道、書道など）」が21.6%と最も高く、以下「スポーツ、レクリエーション」が19.9%、「職業上必要な知識や技能（資格取得・様々な能力の習得など）」が17.1%、「健康、家庭生活に関する知識や技能（健康、医学、栄養、料理など）」が16.0%と続いています。

男女別で見た場合、男性は「スポーツ、レクリエーション」が22.9%と最も高く、女性は「趣味的なもの」が21.5%と最も高くなっています。

年代別で見た場合、20歳代、30歳代では「職業上必要な知識や技能」が最も高く、40歳代、60歳代においては「スポーツ、レクリエーション」、50歳代では「趣味的なもの」も「スポーツ、レクリエーション」と並んで最も高くなっています。また、70歳以上では「趣味的なもの」が最も高くなっています。

また、学習をしていないと答えた人が全体で40.2%となっています。

#### <前回調査との比較>

前回調査では、「趣味的なもの」が21.2%と最も高く、以下「職業上必要な知識や技能」が18.8%、「健康、家庭生活に関する知識や技能」が18.4%、「スポーツ、レクリエーション」が16.2%となっています。順位に変動はあるものの、現在の傾向と大きな差異はみられません。

また、前回調査と比較すると、学習をしていないと答えた人が36.4%から40.2%と、3.8%増加しています。

#### <他の調査との比較>

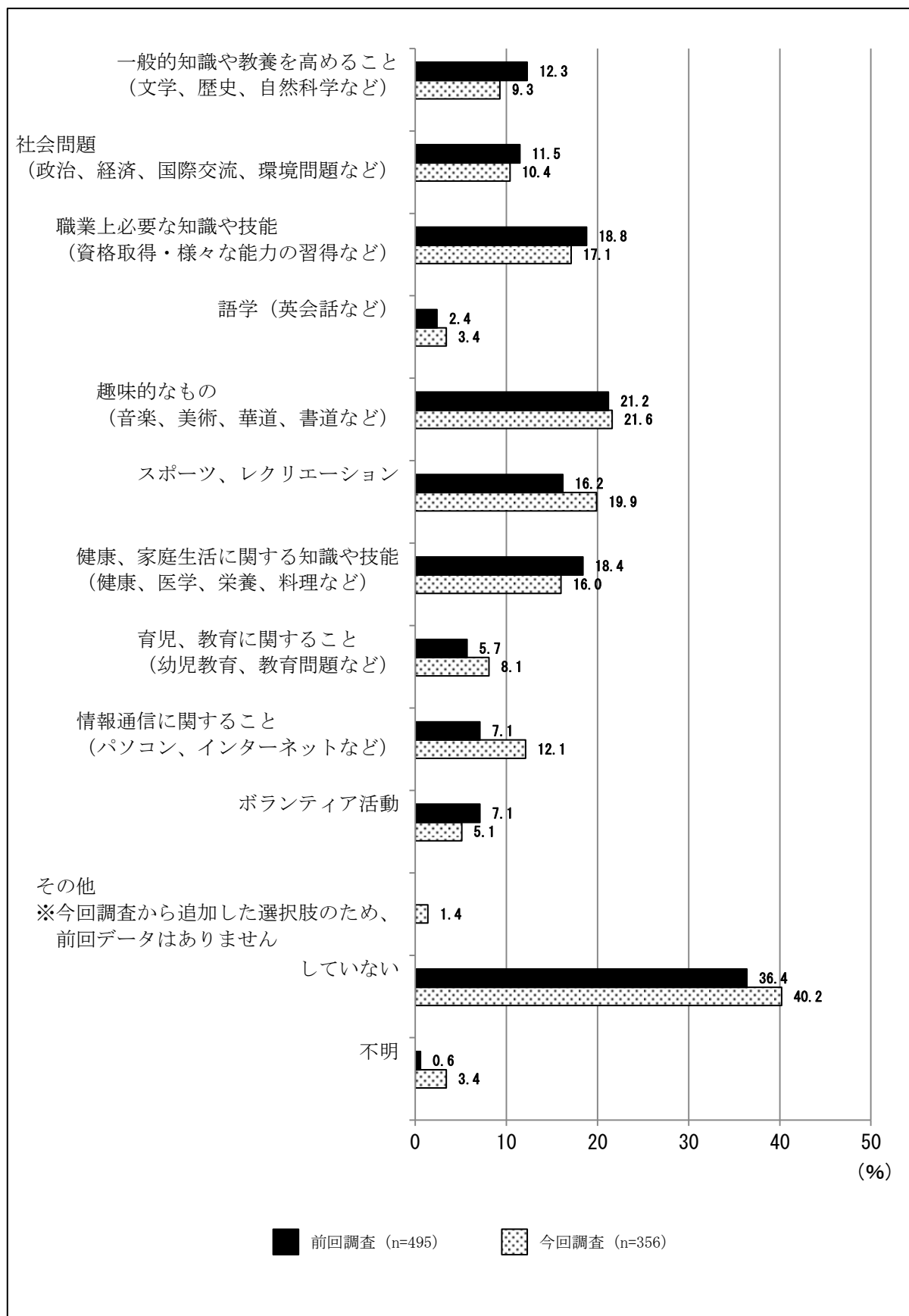
国が行った調査では、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が30.4%と最も高く、次いで「趣味的なもの（文学、歴史、科学、語学など）」が25.7%、「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」が15.2%、「家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）」が14.1%となっています。

また、学習をしていないと答えた人が42.5%となっています。

県が行った調査では、「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの（音楽、手芸、茶道、書道など）」が47.8%と最も高く、以下「スポーツ・レクリエーションなど（球技、ダンス、ハイキング、格技など）」が38.5%、「職業上必要な知識、技術などに関するもの（仕事に関係する知識・技術、仕事上のパソコン操作法など）」が28.8%となっています。

また、学習をしていないと答えた人が59.4%となっています。

## &lt; 前回調査との比較 &gt;



<年 代 別>

